

※攻玉社中学校 (帰国生)※

～ 概要～

- **試験形式** : Reading (読解)、Grammar (文法語法)、Listening (講義形式) の 3 部構成。 : 読解・文法・リスニングがバランスよく配置されており、総合的な英語力が問われる。
- **設問概要** : **[I] Reading Section** : 2 つの大問で構成。1 つ目は物語文 (教会での出来事)、2 つ目は時事的な説明文 (COVID-19 と教育格差)。空所補充、整序、内容一致に加え、**日本語で具体的に説明する記述問題**が含まれるのが特徴。 : **[II] Grammar Section** : 誤文訂正問題。文中の下線部から誤りを選び、**たった 1 語**で正しく書き直す形式。正確な文法知識が必須となる。 : **[III] Listening Section** : 5 つの異なる Talk を聞き、各 4 問 (計 20 問) に答える形式。講義内容などのアカデミックな聞き取り力が求められる。
- **時間配分予想** : Reading の日本語記述と、Grammar の訂正箇所の特定に時間がかかる可能性がある。Listening の比重も大きいため、前半の Reading をスピーディーに処理するペース配分が重要。

～ [I] Reading Section (読解)～

- **形式** : 物語文 (教会の用務員の話など) と、時事的な説明文 (COVID-19 と教育など) の 2 題構成。
- **問題数** : 物語文 9 問、説明文 9 問。
- **ポイント** : 物語文では、文脈に合う形容詞の選択 (obscure, obedient など) や、心情理解 (なぜ当惑しなかったのか等) が問われる。説明文では、パラグラフ整序や、文脈に即した単語の変形 (例 : pressure → pressured 等) など、文法・語彙の運用力も試される。

～ [II] Grammar Section (文法語法)～

- **形式** : 文中の下線部ア～エから誤りを選び、**1 語**で正しく書き直す。
- **問題数** : 10 問。
- **ポイント** : 正確な文法知識が必須。例えば、不可算名詞の扱い (homeworks→homework)、接続詞と前置詞の使い分け (during→while)、自動詞・他動詞の区別 (lay→lie/laid) など、日本人が間違えやすいポイントが頻出。

～ [III] Listening Section (リスニング)～

- **形式** : 5 つの「Talk」を聞き、それぞれの内容に関する質問に答える。
- **問題数** : 各 Talk につき 4 問、計 20 問。
- **ポイント** : 「様々な Lecture の内容を問う」とあり、アカデミックな内容やまとまった長さの話の聞き取るスタミナと集中力が必要。

～ 総評～

- **傾向と対策** : 読解では、古典的な物語文の心情読解と、最新の時事問題 (オンライン教育、パンデミックの影響) の両方に対応できる幅広い教養が必要。 : 文法問題 (誤文訂正) は配点も高く、正確な知識がないと解けないため、文法書の徹底的な復習が有効。 : **インターTOMAS** では、物語文特有の表現や心情描写の読み解きに加え、文法的な精度を高めるための演習を徹底します。